

えくてひみん

立川と語ろう 立川に生きよう

January 2016

Écoutez Bien Vol.34 No.374

1

地球の未来が見えてきた!



多摩モノレールのあの朝

多摩地域を南北に結ぶ多摩モノレール。
5市をつなぎ、人を運ぶ。
モノレールで立川は、確かに変わった。

多摩モノレールが全線開通してまもなく16年。東京都の長期計画の中で多摩地区の各都市を結ぶ全長93kmのモノレール構想が位置付けられ、1989年9月29日に多摩センター・上北台間16km区間が都市計画決定された。1990年7月、第1期区間が事業許可され事業着手。2000年1月10日、多摩センター・上北台駅間が全線開通、多摩市・八王子市・日野市・立川市・東大和市を1本の線で結んだ。



2008年5月撮影



暫定開業一番乗りの切符



立川北駅 5時37分発の始発



前日から待っていた人たち



運転士さんに花束



始発を待つ列



始発車両の中



2008年5月撮影



2013年4月撮影



2013年3月撮影

1999年1月号のえくてびあん。当時はまだモノクロだった誌面に「始発！」の文字が躍っている。1998年11月27日、多摩モノレール暫定開業（立川北駅・上北台駅間）の朝、始発取材の記事だ。27日午前1時に立川北駅に行ってみると、コンコースへ通じるシャッターの前に前日26日の午後2時から待っているという一番乗りがいた。えくてびあんスタッフもここに合流する。コンクリートの床が底冷えする寒さだったらしい。やがて始発を目指した人たちの列ができ、午前4時50分予定より早くシャッターが開いた。出発前、運転士さんに花束の贈呈というちょっとしたセレモニー。一般客が一斉にカメラのシャッターを切った。

立川がアニメの舞台になっていくのに一役買ったのもモノレール。「アニメ×立川」の街づくりが地道に進められ5周年を迎えた。立川はすっかりアニメの聖地になった。空中を走るレールが近未来を想起させる。モノレールを絡ませると、風景がひと味変わってくるから面白い。ファールを抜けるとIKEAが見える。戦前の建物「立飛の給水塔」さえ現代的な建造物に見えてくる。注目の立飛駅の乗車数、2000年当時は1日平均621人で、2014年は1410人。この数字がどんなに伸びるか、2016年が楽しみだ。

参考資料：
「写真でみる 立川の街づくり—あゆみと今—」（立川市）

ほとけの世界と その造形

藪内佐斗司流を訊いちゃいました

「応現院文化講演会」も15回を迎えた。
今回の講演者は彫刻家の藪内佐斗司氏。
講演会後の短い時間にお話をうかがった。

— 本日の講演はお釈迦さまの一生といますか、仏教概論みたいで面白かったです。

藪内 それは良かった。

— 先生のHPを拝見しました。「平成伎楽団」の鹿踊りを見て、以前えてびあんで取材した国文学研究資料館の展示を思い出しました。津波で被災した本や書類、伝統芸能のあれこれを修復したという…、この写真です。

藪内 ああ、釜石の鹿踊りと書いてありますね。私は岩手県の陸前高田と縁があるんです。陸前高田も鹿踊りが盛んですが、その装束などを保管していた倉庫のほとんどが流されたんです。そこで、その復興も兼ねて、伎楽団で鹿踊りを取り入れました。

— 何もかも、流されましたからね。

藪内 陸前高田の松林が流されましたよ。私はあの松の木で、お地蔵さんをたくさん創っているんですよ。

— 流されたあの木を彫ってですか？

藪内 そうです。あの木を彫って。

— あの松の木で創るということに何か意味がおりなのですか？

藪内 もともとは善光寺さんから来たお話だったのですが、もうチップにして捨てるしかない。でもとてもいい木なんです、太くてね。初めて善光寺さんに連れられて高田に行ったとき、あの木を見てね、彫刻家として何か残さないかんのとちがうかと。特にあの松は被災者と同じ目に遭っているわけです。だいたい樹齢が300年だったそうですが、ずっと高田の街を守ってきた松がね、ああいふ形で流されてしまった。仏さまを創る意味を、あの松の木を見た時に教

えてもろた気がしましたね。

— お地蔵さんを彫るのってどのくらい時間がかかるものなんですか？

藪内 速いですよ、プロですから(笑)。

— そうですね、失礼しました(笑)。立川にも「獅子舞」があるんです。口上で「南蛮渡来の」と言うんですが、角がある獅子頭なんです。

藪内 獅子って言いますが、鹿なんですよね。— それで陸前高田の「鹿踊り」と書いて「ししおどり」と読むんですね。

藪内 そうです。— ところで先生、ご存知でしたか？今日の講演会とはとても人気が高かったそうですよ。

藪内 そうらしいですね。

— いろいろと勉強になりました。使える小ネタも散らばっていたし。「カルピス」の話は本当なんですか？カルピスの生みの親、三島海雲が内モンゴルで出会った馬乳酒にヒントを得て造った乳酸飲料に「サルピス」ってつけたら、知人の山田耕笹が「語感が悪い。カルシウムが多いのだから『カルピス』にしない」と言われたって。

藪内 本当の話だそう。今日は時間がなかったけど、あの後にもまだ話はあったんです。— ああ、残念!

藪内 また次の機会にね(笑)。

— 不動明王の青黒色から青鬼が、愛染明王の赤い色から赤鬼ができて、それも初めて知りました。

藪内 「おに」っていうのはね、日本だけのものなんですよ。漢字の「鬼」は、目に見えない

悪霊なんです。中国の人たちにとって「鬼」という字は非常に怖いものです。でも日本には絶対悪がないんです。みんなどこかユーモアとペーソスがあってお人好し。それが日本人の心情だと思います。

— なるほど。

藪内 死んだ人をいつまでも鞭打たないとかね。これは日本人の美徳なんですよ。

— それは日本人が昔から持っているものなんじゃないですか？

藪内 だと思えますね。天皇制でずっときた国なのに、天皇に逆らった人を今でもお祀りしている。神田祭って朝廷に謀反を起こした平将門という極悪人のお祭りですよ。でも東京で一番重要で人気のあるお祭りなんですよ、逆賊のお祭りが(笑)。

— みんなそんなこと気にしてないし。

藪内 そうなんです。明治維新では、幕府から天皇家に政権が戻された後、徳川の人々が処罰されずに貴族になるんです。こんな国、ないですよ(笑)。

— 寛容な国ですね(笑)。

藪内 寛容な国(笑)。だからね、日本人はそれをもっときちっと言わないといけない。これが日本人の考え方ですよ。それを外国のみんなにきちんと言うのが本当のグローバルなんです。向こうの基準に合わせるのではなく、日本の基準をきちんと外国の人に理解してもらうのが本当のグローバル。今のグローバルは間違っていると思う。

— 先生のなさっているユニークな「平成伎楽団」の活動も、「和顔施」とおっしゃっているけ



藪内佐斗司氏

彫刻家・東京藝術大学大学院教授(文化財保存学専攻)。1953年生まれ。東京藝術大学及び大学院で学んだ後、6年間にわたり仏像の古典研究と仏像修理に携わる。その後、古典技法を駆使した木彫とブロンズ彫刻で、日本人の精神世界や仏教的世界観を「童子」というキャラクターを用いて制作。2004年、現職に就任。2010年、奈良で開催された「平城遷都1300年祭公式キャラクター・せんとかん」制作を機に、仮面舞踏団「平成伎楽団」のプロデュースを開始。2011年から2014年にかけてNHK教育の仏像番組を担当、わかりやすい仏像解説が好評を得る。著書：新書「ほとけの履歴書」(NHK出版2010)、作品集「藪内佐斗司 やまとごから」(青幻舎2013)、文庫「仏像礼讃」(大和書房2015)、「ほとけさまの図鑑」(小学館2015)、選書「壊れた仏像の声を聴く」(角川選書2015)など。

※このページの英語版は多摩てばこネットに掲載中です。

For English information on this page, please look at 'Ecoutezbien (月刊えてびあん)' section in the official website of 'Tamatebako-net.'

http://www.tamatebakonet.jp/files/user/ecoutezbien/ecoutezbien1601_interview-en.pdf

(掲載期間：2015年12月19日～2016年1月18日)



れど、それも…。

藪内 同じです。今ほど仏教とか仏像というものにのめり込む前から、自分の作品や表現活動は「人に喜んでもらってなんぼや」と思ってたからね。結局それって大乘の心なんです。

— いまさらなんです、藪内先生は仏教徒なんですか？

藪内 特定の宗派に所属する仏教信者ではありません。親の墓参りも全然しませんし。

— 親の墓参りもしない？

藪内 行ってませんね。母のところに仏壇はあるんですが、帰ってもほとんどチンもしない親不孝者です(笑)。

— あれ？それはいいんですか(笑)？

藪内 だから、檀家寺の信者ではないし、形式にはとられない。

— でも、先生、仏教すごく好きですよ。

藪内 好きです。日本人の精神文化としての仏教をこよなく愛しています。

— なるほど、なるほど。形ではなく、やはり心を伝えていかなければならない。大乘の心とか。

藪内 そうですね。私は真如苑の信徒ではないですが、真如苑のあり方はとてもいいと思います。

— 真如苑のあり方といますと？

藪内 新しい宗派のなかでは、すごくオープンです。だから東大寺や薬師寺にたくさんの観光客が拝観に行くように、将来的にはこの応現院の境内に普通の人がたくさんお参りにくるようになればいいと思います。

— そうですね。

藪内 結局は、「なにごとのおわしますかは知らねども かたじけなさに涙こぼる」と西行の歌がありますよね。日本人の宗教観ってそれなんです。いちいち何の神さまとか誰それが祀ってあるかなんて知らなくても、自然に頭が下がるのが日本の宗教なんです。

— 朝日が昇れば手を合わせるし、

藪内 そう、そう。闇夜を照らすお月さまにも感謝する。

— 高い山には畏れを持つし。

藪内 そういう風にしてきたのに、今、それをみんな忘れてる。「怖れ」ではない「畏れ」、「畏敬」の念ですね、それを大自然やご先祖に対して抱かないといけないうし、子どもたちに伝えなければいけないと思いますね。

藪内 先生が仏さまをユニークな姿にされるのは、親しみやすくするためですか？それとも先生の仏像観？

藪内 世界観ですね。仏教観です。

— でも、先生に似てますよね、全部。

藪内 かならず最後に言われるんですよ。「せんとかんそっくりですね」とか。95%の人は言いますね。あとの5%の人は遠慮して言わないんですよ。失礼かなと思って。

— (爆笑)すみません。失礼しました。でも似てますよね。

藪内 知りません(笑)。私自身は私をモデルにはしていません。

— 立川のタウン誌としてひとつお聞きしたいことがあるんです。先生は応現院にある「おおぞら地蔵」をトンボにお乗せになりました。トンボに対するイメージって何かおありなのですか？

藪内 日本はね秋津島といって、蜻蛉(とんぼ、あきつ)が飛び交う島なんです。秋の収穫の頃にたくさん現れて、害虫を食べてくれる蜻蛉を愛してきた。蜻蛉は豊穡の象徴。今までにも蜻蛉の作品をたくさん創っていますけれども、応現院のお地蔵さまが蜻蛉に乗っているのは、真如苑教祖の伊藤真乘さんが戦前の立川飛行機で、たぶんその頃だから複製機だと思っただけなんです。航空写真の技術者だったとお聞きしたのです。その頃だったら練習機といえば赤とんぼですからね、そのことにちなんでいられる。

— 実はですね、立飛ホールディングスという会社、昔、その前身の会社で赤とんぼを造っていた…。

藪内 おや、そうでしたか。

— その立飛HDさんで「たっぴくん」「たっぴちゃん」というイメージキャラクターを作られたんです。そのキャラクターのモチーフがトンボなんです。これです。

藪内 (キャラクターグッズを見て)なんで私に相談してくれなかった!!(笑)。

— (爆笑)

藪内 でもよくできてる。よくできてる。かわいい。

— リュックサック背負っているんですよ。この中に夢と希望が詰まっているらしいです。お地蔵さまをトンボに乗せるというのは先生のアイデアだったのですか？

藪内 そうです。

— ぶっ飛んでますね。すごいです。

藪内 (笑)やっぱり楽しくなければつまらないという芸術観ですから。人を悩ませたりするのは、私は芸術だと思わないんですよ。楽しませてなんぼのものだということですね。応現院のお地蔵さんも立川市民に親しんでいただけたら嬉しいなと。ということで、うまくまとまりましたね(笑)。

— ありがとうございます(笑)。

地球の未来が見えてきた!

GRENE北極気候変動研究事業

特別セミナーやシンポジウムに参加してみた。
地球の今を知り、これからを探る。科学者はものすごくポジティブだった。



北西航路での氷海航行 (写真:北見工大・館山一孝氏)



11月6日の楽水会館での様子



11月9日コクヨホールでの様子



(株)ウェザーニュースも安全な航海のための気象予報を提供している



「様々な課題に対して大きな影響を及ぼしている」内容を知らなかったら3月の発表会へどうぞ



北極海のザトウクジラとハシボソミズナギ (写真:北海道大学・西沢文吾氏)

船体着氷を知る

通常の「着氷」: 過冷却水滴が物体に衝突

樹氷 粗氷 雨水 樹氷 大気着氷

「船体着氷」はしぶき着氷がその主要因

飛沫の発生 → 飛沫の飛来 → 物体への衝突 → 水膜が流下 → 着氷の成長

船体着氷がこんなに大きな問題だと初めて知った

えくてびあん11月号のインタビューコーナーで、国立極地研究所の山内恭先生に「なぜいま北極なのか」と題して、文部科学省の5ヵ年プロジェクト GRENE 北極気候変動研究事業の最終年度を語ってもらった。いったいどのくらいの成果が出ているのだろうと、11月6日(金)には東京海洋大学品川キャンパス楽水会館まで第2回特別セミナー「北極海航路の持続的利用実現に向けて」、11月9日(月)には品川にあるコクヨホールへ海洋生態系シンポジウム「ここまで分かった海洋生態系の変化 海水が減ると、生態系は、水産資源は、どうなるの?」を聴きに行った。

北極海航路輸送のシナリオと展望

GRENE Arctic

大塚夏彦
北日本港湾コンサルタント株式会社

ここに未来の経済発展があるのかもしれない

温暖化は確かにあるし、進行している。グリーンランドでは氷がどんどん融けているらしい。冷たい海で暮らしている例えばシロクマは生き残れないのか? 一般人としては悲観的な面ばかりが浮き彫りにされ、温暖化=悪いこと、だから止めなければならない! というイメージでした。しかし、しかしなのだ。科学者はもっと違うところに立っていた。環境の変化を止めるというよりは、現状をきちんと把握し、その変化に順応し、利用しようとさえ考えている。止まらないそして止められない温暖化。海水が融けていく環境に生態系はこう変わっている。発表する研

GRENE北極: 海水減少と海洋生態系の変化

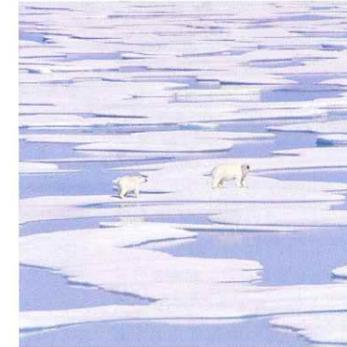
太平洋側北極海の海水状況

- 1990年代後半から、夏季海水面積の減少が顕著になってきた。
- チャクチ海は、既に夏には海水が存在しない季節海水域と言っている。
- ポーフォート海(アラスカ・カナダ沖)やシベリア沖の北極海は、年によって変わる。大きく後退する年もあれば、氷が残る年もある。

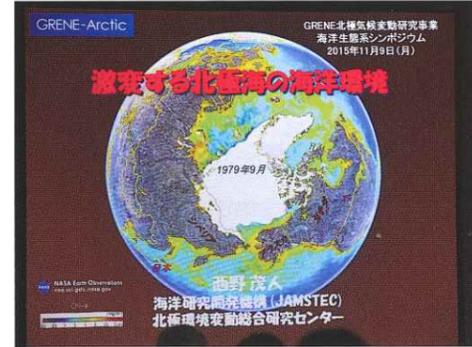
目に見えると氷の状況がよくわかる 極地研には ADS(北極域データアーカイブ)があり、誰でもアクセスして準リアルタイムで北極の様子を知ることができる

究者に少しも憂いは感じられない。実に冷静というかむしろポジティブにさえ見えてくる。北極海の海水分布を精密に予測し、海水減退期の航行におけるリスク評価、船体着氷、航行支援モデル、輸送シナリオなどについての成果を発表。もし国際情勢で東シナ海が通れなくなることがあったらと考えると、北極海航路は国策に直結することなのだろう。

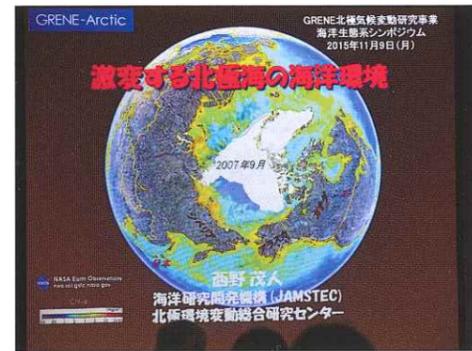
2016年3月には一般に向けて大々的な成果発表があると聞いている。自分たちの住む地球。未来をしっかり自分の目で確かめたい。



北極の海で今はまだシロクマに遭遇することがあるそうです (写真:北見工大・館山一孝氏)



白い所が氷。1979年と2007年を比べると、夏の氷がこんなに減ってしまった



えくてびあんの輪

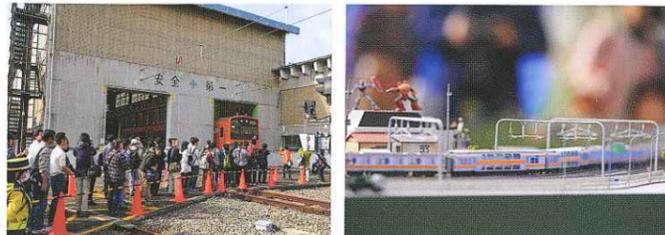
えくてびあんはリストのお店にあります。
今月は 錦町・柴崎町・立川市外 のお店です。

- 錦町
- ホテル日航立川 東京 521-1111
 - 至誠ホーム 527-0031
 - 至誠介護相談センター 527-0321
- 柴崎町
- 諏訪神社 522-2968
 - 毎日新聞社グループ(株) 毎日広告社 522-6121
 - パスタビーノ はしや 521-3386
 - 高島ビル 526-0111
 - Hair Room MOON ZETTON 523-0961
 - 南武堂剣道具店 527-0197
 - ビジネスホテル 小沢屋 523-0388
 - おしゃべりカフェ・スペース 527-1636
 - ESBI 立川南口店 526-2947
 - タイオタヤレストラン 595-7295
 - (株) 一心堂 527-3777
 - すがの歯科 540-2675
 - 紙匠 雅 548-1388
 - あすなろクリニック 529-2756
 - ソレール.Na 548-8788
 - ピストロすぎ浦 525-9929
 - 入船茶屋 524-6266
 - チーズフォンデュと欧風料理 クワトロ 528-2983
 - 串揚割烹 トントン 524-4521
 - Pasta Frola 立川南口店 540-8033
 - レンタルスペース&ギャラリーカフェ 舞工房 843-7818
 - パセリ ドゥーエ 525-8486
 - 甘味処 石や 524-0862
 - 不動産 コマツホーム 525-5811
 - 芹沢ガラス店 522-3065
 - かみゆい処 わ 522-8202
 - ファッションハウス ホマレヤ 525-2788
 - ホテル ほまれ 523-0588
 - ヘアサロン オオヌキ 528-0809
 - 中国四川料理 山城 512-8356
 - 酒歩 たから 528-1510
 - 服地・洋裁材料 藤レディース 528-5101
 - 純中国料理 北京大飯店 522-6393
 - リサイクル着物 着楽堂 523-9702
 - 天婦羅・うなぎ 良銀 522-6702
 - レンタルボックス きらら 522-3913
 - 生活雑貨 EAST END 523-9636
 - 特むし銘茶・海苔 菊川園 526-2035
 - ジョイフルプラザ 0120-29-2775
 - めん心 堤屋 525-6602
 - hoccori*café 595-8379
 - 立川わかば整骨院 526-8518
 - (株) 立川紙業 527-6111
 - 中華小皿料理 得得屋 528-1060
 - Fashion You Me 523-1640
 - 手焼せんべい 雷神堂 521-5705
 - 石原薬局 523-4067
 - 日級食堂 相模屋 525-9478
 - ティーゴジュー 525-6366
 - サイクルハウス 輪輪館 522-8100
 - ひがしミート 522-6266
 - (株) 正盛堂 522-2328
- 立川市外
- 昭島市
 - ECO'S 昭島店 546-3710
 - 武蔵村山市
 - 中国料理 菜 561-7233
 - さき大南食品館 561-7666
 - 国分寺市
 - パンの店 fermata 534-3334
 - 小金井市
 - ONLY FREE PAPER

街の話題

2015 TOYOTA ROLLING STOCK CENTER FESTIVAL

もちろん中央線の豊田車両区で開催された「豊田車両センターまつり2015」のことです。多くの鉄道ファンが集まるこの催し。11月7日(土)、いいお天気に恵まれて、駅弁もミニ新幹線も洗浄線体験も開始早々長蛇の列。あっといふ間に整理券がなくなりまし



写真撮影にもこの列です 2階建になっています

ギャラリートークも立川の宝です

国文学研究資料館の展示室は立川通なら要チェックです。特に「ギャラリートーク」は外せません。今回は特別展示「韓国古版画博物館名品展」に伴いギャラリートークが開催されました。普通に展示品を眺めただけではよくわからないことを丁寧にお話してくれます。講師の先生がちょっと説明を加えてくれると、展示品が急に生き生きしてきて語りかけてきます。韓国の版画は韓国国内でもあまり知られていないようですが、版画の歴史は仏教の歴史、なるほどなるほどと感心して帰ってきました。この展示は終了しましたが、国文研のギャラリートークを聴くと、人間の厚みが増すような気がします。オススメです。



今回の講師は入口教志先生。えくてびあん 2 度目の登場です 韓国のバレンは出家剃髪の人毛で作っていたそうです (先生が手にしているのがバレン)

防火のつどい——秋の火災予防運動表彰式

立川消防署館内の火災予防業務協力者の表彰が行われました。11月10日(火)会場のグランドホテルには、表彰される団体や個人など多くの方が集まり、石川立川消防署長のお話の後、国立音楽大学学生による防火演奏会も行われました。

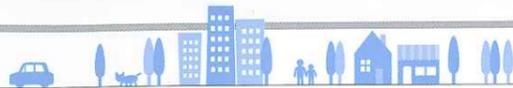


立川駅前広報キャンペーン ——秋の火災予防運動

三の酉までである年は火事が多いと言われています。寒くなると増えてしまう火事の予防喚起に駅前キャンペーンを立川消防署で行いました。キュータ君もひと役買って、大人気。キュータ君のキューは119番のキュー、救助のキュー、救急のキュー、レスキューのキュー、緊急のキューに多くの人を助けるの、なんです。ご存知でした？



立川駅前



ららぽーと立川立飛 グランドオープンしました

晴れた日には富士山が見えとか、光あふれる空間にシンボルツリーが植えてあるとか、話題満載のららぽーと立川立飛。でも実は、ものすごく力を入れた空間があるとお聞きしました。それは女性だけの特別な空間 (suite bathroom)。トイレとは別空間で人目を気にせずゆっくりメイク、全身を確認できる大きな三面鏡、お友達を待つ間ゆっくり時間が過ごせる場所、そんな空間が2階中央部分にあるのです。シンプルだけど洗練された特別空間。慌ただしい毎日過ごす女性たちのオアシスになるかも！です。



秋の稔り豊かに

たちかわ楽市が11月7日(土)と8日(日)に昭和記念公園みどりの文化ゾーンで開催されました。初日は暑くも寒くもないお天気で、野菜や果物はどンドン売れていました。2日分と思って用意したキウイなど、あっという間になくなったとお聞きしました。立川アニメも5周年。アニメの街づくり順調なようです。



表紙の人

清水庄平さん、由紀江さん、信秀さん、通恵さん、僚介くん、佳奈ちゃん

分家して庄平さんが4代目。本家は西砂の開拓民で300年の歴史があります。合併前の砂川には小学校が2校、中学が1校しかなかったそうです。庄平さんご自身も、小学校は西砂にあった分校のご出身。それでも小学1年入学の時には21人同級生がいっしょにいました。そのまま中学も分校で、卒業の時には19人。「忘れもしません。女性12人、男性7人。」みんな姓ではなく、名前で呼んでいたそうです。18歳までは横田基地に近い所にお住まいだったのですが、朝鮮戦争の時に事故があり危険なので現在の地へ移ることになりました。庄平さんご夫妻には息子さんが3人。信秀さんはご次男です。奥様の通恵さんと時差通勤で子育てとお仕事を両立されています。僚介くんと佳奈ちゃんは、秋に阿豆佐味天神社で七五三を迎えました。それぞれに忙しい一家を支えているのは、八王子から嫁がれた由紀江さん。清水庄平さん、お仕事は、もちろん立川市長です。



かたこと

◆2016年丙申を迎えました。急速に変化する立川の街ですが、今年はことさら新しさを感じる年になりそうです。ららぽーとに続き、立川駅北口方面にはホビーのお店「コトキヤ立川店」が戻ってきます。サンサンロードに面した新社屋は、新旧のお客さままでいっぱいになることでしょう。モノレールからの眺めも一変するに違いありません。春には立飛HDのヤギたちも再びの任務につきます。人が集まり、癒される空間があり、あとは何かあればいいのかな？◆新しさに目を引かれがちですが、ずっと歴史を重ねている「立川」もあります。同じ北口方面でも高松町の一角には古くからの「立川」が。店頭にかまが泳ぐヘアサロン イトウさんは1921年の創業です。昭和初期の航空写真には梅の湯の煙突と立川女子高校の校舎。みなさん歴史を積み重ね、梅の湯は立川の検索ワードランキング不動の上位、電子マネーが使えるお風呂屋さんに。90周年を迎えた立川女子高校は、依然山岳部が元気ですし、ダンス部は全国大会出場を勝ち取りました。立川に総本部を置く真如苑も80周年を迎えます。歴史と最先端がうまく融合する街、それが立川。今年も街に寄り添って、えくてびあんも頑張ります。

えくてびあんスタッフ一同

おじゃましま〜す! [42]

All Day Dining 紗灯

11月にグランドオープンしたホテル日航立川東京の1階にあるAll Day Dining 紗灯。モーニングからデイナーまで、いつ訪れても美味しいものがいただける、まさに「美食空間」です。ホテルですが肩の凝らない



ランチには、シェフのおすすめパスタはいかがでしょうか？温かいあるいは冷たい飲み物もお代わり自由、サラダバー、スープバーもついて、お値段はとってもリーズナブル。パスタ以外にもメインにお魚、お肉を選べるランチもあり、辛いカレーも捨てがたい！メニューは週替わり。毎週水曜日にチェンジします。ティータイムに登場するフレンチトーストは絶対おすすめ！いわゆるフレンチトーストを思い浮かべてはいけません。見た目はふんわり卵焼き？ナイフを入れた断面はものすごくキメの細かいお豆腐のよう。バターを溶かしメープルシロップをかけて口に運べば...。なにこれ〜と思わず叫んでしまいます。まるで温かいプリンのような柔らかさ。でもちゃんと外はカリッと焼けている。これでなくてはならないという食パンを使っているそうです。これが世界一と言われた味なのかあと堪能しました。総料理長 塚本伸次シェフはホテルオークラ東京からいらした方！このお味、食べなくてはならない。



〒190-0022
立川市錦町1-12-1
TEL 042-503-9100
営業時間 7:00~22:00

ボンゴレ 塩味もちょうとややく大葉が香ります

これが噂のフレンチトースト



jorakugajo

真如苑提供番組〈常楽我淨〉

スカパー! : 529ch

スカパー!で放送の常楽我淨はスマートフォンアプリ「ivy」(無料)で視聴できます。

J:COM 多摩 : 111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

えくてびあん®

1月号 第34巻 通巻374号

平成28年1月1日発行
発行 有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
E-mail message@tamatebakonet.jp
URL http://www.tamatebakonet.jp
発行人 黒須 環
企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
デザイン 池田隆男 (WATER DESIGN ASSOCIATES)
印刷 三浦印刷株式会社

無断転載を禁じます。

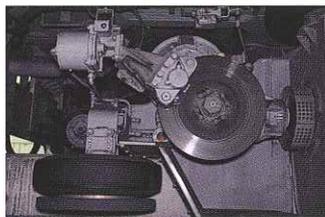


多摩モノレール車両基地見学会2015に行ってきました



極地研究所の伊村智教授がお部屋から撮ったレアな写真
工作車 K1 と K2 の連結

10月31日(土)に、事前申込で5000人の中から当選された180名のご家族と一緒に、泉町にある多摩モノレール車両基地へ。なかなか見ることのできないモノレールの仕組みや構造、保守作業の様子を見てきました。モノレール



には水平のタイヤもあるんだ〜、こんなに点検作業があるんだ〜などなど知って驚くことばかり。楽しい2時間でした。

水平なタイヤ車輪が見えますか？

木下大サーカス招待券 読者プレゼント

2015年12月19日から2016年2月29日まで、『木下大サーカス東京むさし村山公演』開催中です。会場はイオンモールむさし村山の南特設会場で、世界が感動したという「奇跡のホワイトライオン世界猛獣ショー」「サファリスペクタクル」「ロシアン空中アクロバット」も、もちろん上演されます。木下大サーカスは創立113年、多摩エリアでは8年ぶりの公演です。えくてびあんで読者の皆さまから先着10組にペア招待券をプレゼント。招待券の通用期間は2016年1月9日から2月29日まで。ご希望の方はハガキに①ご住所②お名前③連絡先をお書きの上、〒190-0023 立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4階、えくてびあん「木下大サーカス招待券プレゼント係」までお送りください。締切は2016年1月19日(消印有効)。応募10組様になり次第終了、招待券の発送をもって当選とさせていただきます。



2016年5月29日(日) 立飛みどり地区ほか

2016年 第45回 東京ブロック大会 立川大会
地域一体となって、賞金を立川でお持ちしています!
分館社団法人立川青年会

2016年度 第45回 東京ブロック大会 立川大会 開催!